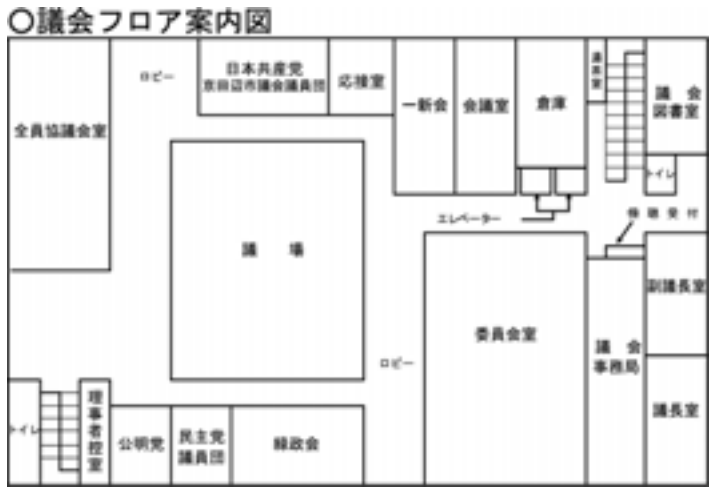
会派構成決まる！

会派とは、自分たちの考えを効果的に市政に反映させるために、同じ考え方や意見をもつ2人以上のグループのことです。

○議会フロア案内図



一新会

（幹事）松村博司

目指す都市像の実現に向け 市民視線で市政を推進

私たち市議会議員は、さきの統一地方選挙で、市民の皆様方の温かいご支援を賜り、大きな期待と負託を受け当選させていただきました。

一新会は、会派の主義主張に賛同した６人の議員で構成する最大会派です。

一新会は、「第３次京田辺市総合計画」が目標年次に沿って、基本計画、実施計画が推進されているのか、また、市民の期待に応えるべく「市民視線で市政運営をチェック」するとともに、地方行政の推進に取り組んでまいります。

昨今の財政が大変厳しい京田辺市において、市長が目指す都市像の実現に向け、市役所の生産性を高める行政運営の改革が実施されるよう、市民の代表として提案し、創意工夫して協働によるまちづくりにまい進する所存であります。

今後とも皆様方のご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

緑政会

（幹事）井上公

将来を見据えた行財政改革を 住民福祉の向上に努めます

今春の市議会議員選挙におきましては、多くの市民の皆様方のご支持を得て当選させていただきました。

６人の議員で構成されている私たち緑政会は、新しく就任された石井市長を支える最大の与党会派として、市政全般にわたり、議員、そして市民の立場で、行政へのチェック機能を十分に発揮してまいります。また、同時に、市民福祉の向上と、安心安全なまちづくりを目指した政策の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

昨今、地方分権が一層進展してくる中で、京田辺市においても、将来を見据えた行財政改革を進めて行かなければなりません。

私たちは、施策の実現に向けて一致結束して活動していくとともに、市民の皆様が安全で安心して住み続けていけるまちづくりに、全身全霊を傾注してまいりますので、ご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

日本共産党京田辺市議会議員団

（幹事）井上薫

『住民が主人公』の立場で 市民要求実現に力を尽くす

政府は、大企業や大資産家には、減税の大盤振る舞いをしながら、国民には負担増や福祉の切り捨てなどの痛みを押しつけています。

地方自治体の役割は、「住民の福祉と暮らしを守る」ことにあります。

私たち議員団は「住民こそ主人公」の立場で、市民の要求実現のために力を尽くします。

この間、みなさんとともに請願署名運動に取り組み、子育て世代の切実な願いであった学童保育の充実などの市民の願いが実現できました。

このように市民運動と議員団の活動が、行政と議会を動かしています。またどんなタブーもおそれず、ムダや不公正を正し、市民の立場で議会でチェック機能を果たしてきました。

引き続きみなさんと力をあわせて、住民の切実な声や願いを市政に反映させるため頑張ります。今後ともご指導、ご支援をいただきますようお願いいたします。

民主党議員団

（幹事）米澤修司

だれもが安心して 住み続けられるまちづくりを

このたびの市議会議員選挙におきましては、私たち民主党議員２名に温かいご支援をいただきました。おかげをもちまして、はじめて民主党議員団として会派を結成することが出来ました。

さて、消えた年金問題は、超高齢化社会を迎えようとしている今日、あらためて年金制度の抜本的改革の必要性を浮き彫りにしました。

また、安倍首相は、憲法改正を最重要の政治課題にしていますが、平和・人権、福祉、教育・環境等の課題に生活者の視点で取り組み「共生の社会」の実現をめざすことこそ大切だと思います。

私たちは、財政状況の厳しい中で、高齢者の生活を支え、子育てを応援し、格差の少ない、生活者本位の、環境と防災に配慮した、だれもが安心して住み続けられる京田辺市をつくっていくためにがんばります。

叱咤激励とご支援をよろしくお願い申し上げます。

公明党

（幹事）櫻井立志

生活者の視点に立って 元気な地域の再生を実現

この度の市議会議員選挙において、市民の皆様の絶大なるご支援をいただきました。

私たち公明党は、生活者の視点に立って、どこまでも一人の人を大切に現場を歩き、市民の声に耳を傾け、最も身近な福祉・教育・環境・雇用・中小企業支援など生活に密着した施策を一つ一つ実現してまいります。時代はますます地方分権へと大きく進んでいます。その中で地域間格差の是正、元気な地域への再生こそ私達地方議員に課せられた使命であると考えます。公明党は国会議員と地方議員が一体となって取り組むネットワーク政党です。少子高齢化など社会の急速な構造変化が進む中で、現在地域が抱えている諸課題を真正面から受け止め、「未来に責任を持つ政治」を京田辺市民のニーズに応えるため、努力、研鑽してまいりますので、今後とも皆様のご指導とご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

意見書（要約）を紹介します。

日豪ＦＴＡ交渉に対する意見書

オーストラリアの農業生産条件は極めて不安定であり、これに安易に依存することは、世界的な食料不足、危機が心配されている中で、日本の食料安全保障を危うくする結果を招きかねない。

よって、日豪ＦＴＡ（自由貿易協定）交渉にあたっては、下記事項が実現されるよう強く求める。

1. 米、小麦、牛肉、乳製品、砂糖などの農林水産物の重要品目を除外するとともに、万一、これが受け入れられない場合は、交渉を中断すること。
2. 農産物貿易交渉は、農業・農村の多面的機能の発展と国内自給による食料安全保障の確保を基本とし、各国の多様な農業が共存できる貿易ルールを確立すること。

政府が把握している年金保険料の納付記録を受給者、加入者に知らせることを求める意見書

5千万件をこえる年金記録が宙に浮いていることが明らかになり、国民に大きな不安が広がっている。この問題は、国民にはいっさい責任はなく、政府と国の責任で解決すべきである。また解決にあたっては、「被害者は一人も残さない」「一日も早く」という原則にたって、あらゆる手段を尽くすことが必要である。

よって政府におかれては、政府が現在把握している年金保険料の納付記録を、すべての受給者、加入者に送付し、知らせることに努めるよう求める。

否決した意見書

「自衛隊の国民監視活動中止を求める意見書」